

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成29年9月14日(2017.9.14)

【公開番号】特開2017-54821(P2017-54821A)

【公開日】平成29年3月16日(2017.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-011

【出願番号】特願2016-214842(P2016-214842)

【国際特許分類】

H 01 J 5/50 (2006.01)

H 01 J 61/52 (2006.01)

H 01 J 7/26 (2006.01)

【F I】

H 01 J 5/50 G

H 01 J 61/52 B

H 01 J 7/26

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月4日(2017.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光を発生させる発光部を内部に有するガラス部材と、前記ガラス部材の第1方向に離れた一方の側と他方の側に設けられる第1口金部材と第2口金部材とを備える放電ランプであって、

前記第1口金部材は、

前記第1方向と交差する第2方向に突出して形成されるフランジ部と、

前記フランジ部の前記第2方向における外形形状よりも小さい外形形状を有し、前記第1方向において前記フランジ部に対して前記第2口金部材の反対側に設けられた軸部材と、を備え、

前記軸部材は、

第1軸部材と、

前記第1軸部材の前記第2方向における外形形状よりも小さい外形形状を有し、前記第1方向において前記第1軸部材に対して前記第2口金部材の反対側に設けられた第2軸部材と、

前記第1軸部材と前記第2軸部材の間に設けられた面取り部と、

前記軸部材の内部を通過する流体路と、を備え、

前記流体路は、前記第1軸部材の表面に設けられた第1開口と前記面取り部に設けられた第2開口とに連通する放電ランプ。

【請求項2】

前記軸部材は、前記第2軸部材の前記第2方向における外形形状よりも大きな外形形状を有し、前記第1方向において前記第2軸部材に対して前記第2口金部材の反対側に設けられた第3軸部材をさらに備える、請求項1に記載の放電ランプ。

【請求項3】

前記軸部材は、前記第3軸部材の前記第2方向における外形形状よりも小さい外形形状を有し、前記第1方向において前記第3軸部材に対して前記第2口金部材の反対側に設けられる第4軸部材をさらに備える、請求項2に記載の放電ランプ。